

東北地方 1か月予報

(7月7日から8月6日までの天候見通し)

平成19年7月6日
仙台管区気象台発表

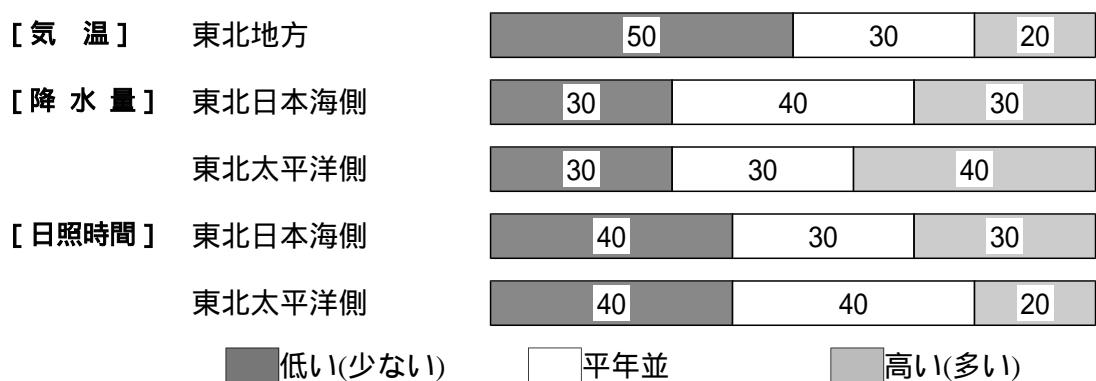
<特に注意を要する事項>

東北地方では、向こう1か月は前半を中心に低温となる見込みです。
農作物の管理等に注意して下さい。

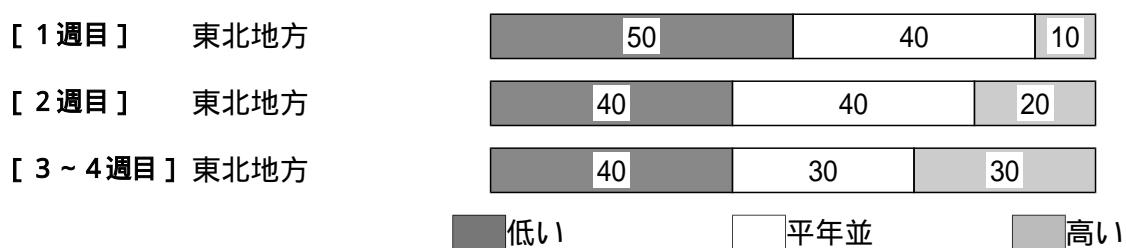
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の平均気温は低い確率が50%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は低い確率が50%、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月 7日(土) ~ 8月 6日(月)
1週目 : 7月 7日(土) ~ 7月 13日(金)
2週目 : 7月 14日(土) ~ 7月 20日(金)
3~4週目 : 7月 21日(土) ~ 8月 3日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月13日
3か月予報：7月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

| | 気温 () | 降水量 (mm) | 日照時間 (時間) | 気温() | | |
|-----|-----------|-------------|--------------|-------|------|-------|
| | | | | 1週目 | 2週目 | 3~4週目 |
| 青森 | 21.9 | 107.7 | 184.2 | 20.0 | 21.1 | 23.0 |
| 深浦 | 22.1 | 150.3 | 183.9 | 20.3 | 21.3 | 23.1 |
| むつ | 20.4 | 119.5 | 157.5 | 18.5 | 19.5 | 21.5 |
| 八戸 | 21.1 | 113.1 | 174.3 | 19.1 | 20.1 | 22.2 |
| 秋田 | 23.5 | 173.9 | 180.3 | 21.6 | 22.7 | 24.5 |
| 盛岡 | 22.5 | 168.7 | 151.1 | 20.8 | 21.7 | 23.4 |
| 大船渡 | 21.8 | 159.6 | 157.2 | 20.0 | 20.9 | 22.7 |
| 宮古 | 20.8 | 137.3 | 155.9 | 18.9 | 19.9 | 21.9 |
| 仙台 | 22.8 | 155.9 | 139.0 | 21.0 | 21.9 | 23.8 |
| 石巻 | 22.1 | 122.9 | 158.5 | 20.4 | 21.3 | 23.1 |
| 山形 | 23.9 | 143.7 | 166.1 | 22.2 | 23.1 | 24.9 |
| 新庄 | 23.0 | 182.1 | 164.7 | 21.3 | 22.2 | 24.0 |
| 酒田 | 23.9 | 179.6 | 193.1 | 22.0 | 23.1 | 24.9 |
| 福島 | 24.3 | 142.1 | 144.8 | 22.6 | 23.4 | 25.3 |
| 若松 | 24.1 | 154.5 | 181.2 | 22.5 | 23.3 | 25.0 |
| 白河 | 22.6 | 189.2 | 141.3 | 21.2 | 22.0 | 23.4 |
| 小名浜 | 22.4 | 119.0 | 167.8 | 20.9 | 21.7 | 23.1 |

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 気温平年差() | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) |
|--------|-------------|-----------|------------|
| 東北地方 | -0.4 ~ +0.7 | 79 ~ 116 | 92 ~ 110 |
| 東北日本海側 | -0.4 ~ +0.5 | 80 ~ 118 | 91 ~ 110 |
| 東北太平洋側 | -0.3 ~ +0.9 | 77 ~ 117 | 92 ~ 115 |

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

| | 1週目 | 2週目 | 3~4週目 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 東北地方 | -0.8 ~ +0.6 | -0.9 ~ +1.0 | -0.4 ~ +1.0 |
| 東北日本海側 | -0.7 ~ +0.5 | -0.8 ~ +0.8 | -0.5 ~ +0.8 |
| 東北太平洋側 | -0.9 ~ +0.8 | -0.9 ~ +1.1 | -0.3 ~ +1.0 |

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年7月6日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月7日~8月6日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

1週目(7月7日~7月13日) :

期間の前半は、東北北部を中心に高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。東北太平洋側南部は湿った東風の影響で曇りの日が多い見込みです。期間の後半は、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨でしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

2週目(7月14日~7月20日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3~4週目(7月21日~8月3日) :

前線や湿った東風の影響で、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。また、高気圧におおわれて晴れの日もある見込みです。

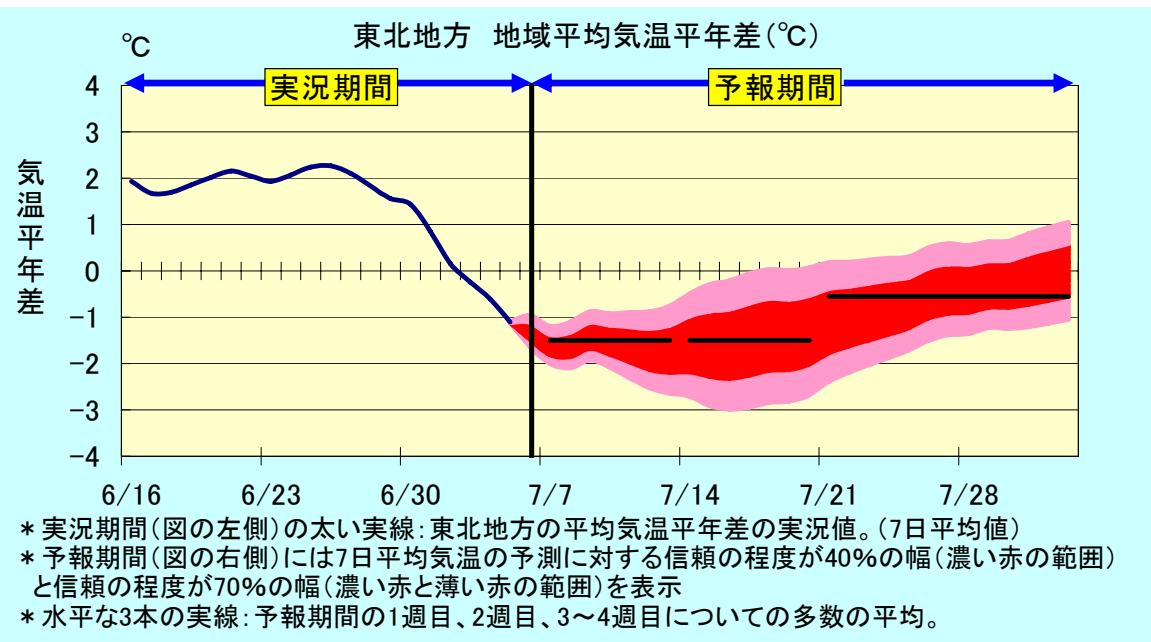
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

| | 向こう28日間 | 1週目 | 2週目 | 3~4週目 |
|--------|---------|------|------|-------|
| 東北日本海側 | 13.8日 | 2.6日 | 3.1日 | 8.1日 |
| 東北太平洋側 | 12.1日 | 2.3日 | 2.6日 | 7.2日 |

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目ともに平年を下回る予想となっており、3~4週目はおおむね平年並の予想となっている。

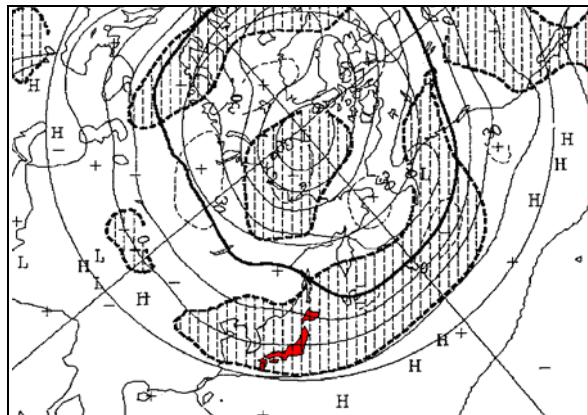


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、日本付近は負偏差。極を取り巻く高緯度付近の正偏差は、1、2週目の天気図にも見られ、日本付近の負偏差は持続する可能性が大きい。

1週目: 太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、日本付近は負偏差。明瞭な降水域は本州南岸付近に見られ（図略）、梅雨前線上を低気圧が周期的に通過する見込み。また、東シベリア付近の等高度線が北へ盛り上がっており、一時寒気やオホーツク海高気圧の影響で気温が低くなる見込み。

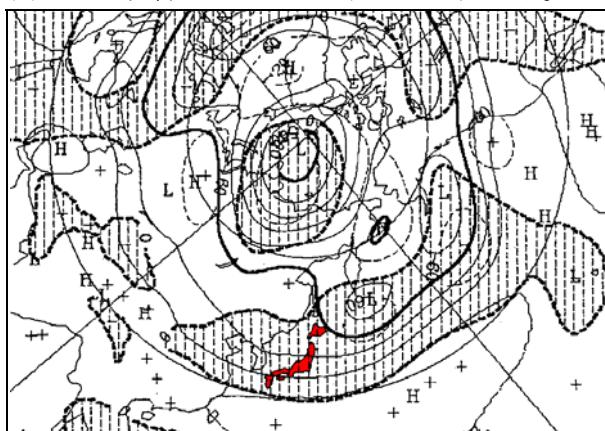
2週目: 太平洋高気圧は西へ張り出すが北への張り出しが弱く、日本付近は負偏差。日本の東が気圧の谷で、東シベリア付近の等高度線が北へ盛り上がっていることから、寒気やオホーツク海高気圧の影響により気温は低くなる見込み。



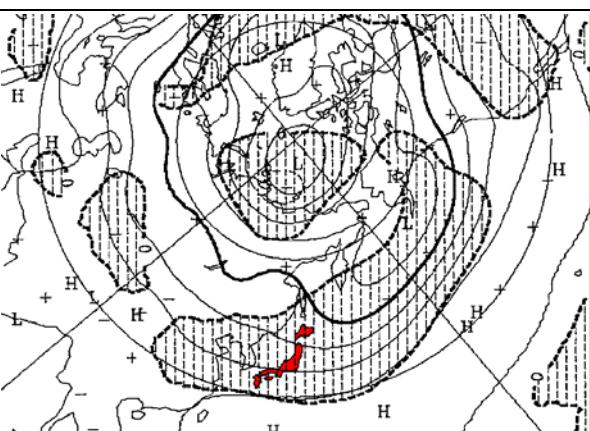
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

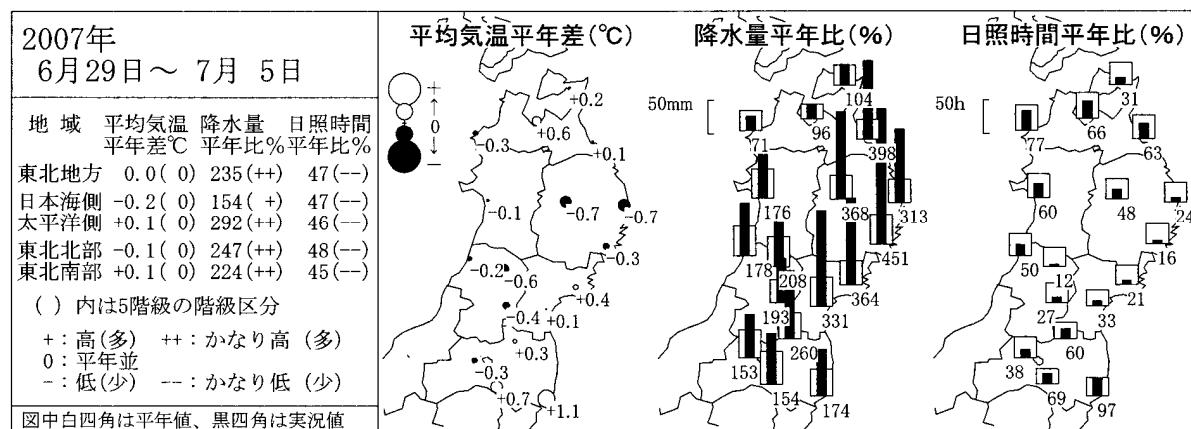
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（6月29日～7月5日）の天候の経過

この期間、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。29日は日本海にあった梅雨前線上の低気圧が東北地方を通過し各地でまとまった雨となり、山形県では短時間の激しい雨により、浸水や土砂崩れなどの被害が発生した。また、4日から5日にかけては、日本海から進む梅雨前線上の低気圧の影響により、東北地方はまとまった雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）